

# 研 修 報 告 書

(秋田県社会福祉士会)

研 修 名	第 5 回 小さな勉強会 in 秋田 ～北東北社会福祉士の交流会～
日 時	平成 26 年 9 月 27 日 (土) 14:00～16:30
会 場	ジョイナス 研修室 3
参加者数	37 名(講師 1 名、岩手県 3 名、青森県 8 名、秋田県 25 名)
内 容	<p>テーマ 「深めよう！ワールドカフェで東北の絆」</p> <p>《内容》</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、 開会の挨拶 秋田県社会福祉士会 青年部会 米田 浩一 青森県社会福祉士会 ユース部会 平野 絢子 様 岩手県社会福祉士会 うしわか の会 川浪 若菜 様</li><li>2、 「ワールドカフェ」についての説明 FIFA～Fukushi Innovation From Akita～より</li><li>3、 「ワールドカフェ」開始、各チームからの発表</li><li>4、 閉会</li></ol> <p>今回、小さな勉強会は開催 5 周年を迎え、青森県社会福祉士会・岩手県社会福祉士会・秋田県社会福祉士会、初の北東北 3 県合同での開催となった。</p> <p>上記のテーマのもと、FIFA～Fukushi Innovation From Akita～より講師をお招きしワールドカフェについて説明をいただいた。その後はチームに分かれ、さらに時折他チームのテーブルに移動しながら「自身が目指す社会福祉士」「社会福祉士の専門性」について探求した。他チームのアイディアをチームに持ち帰ることで、さらなる発見や気づきを得られ、大変有意義な時間となった。また、テーブル移動を繰り返す度に参加者同士が打ち解けていき、場が盛り上がっていくのを感じた。県や所属する領域などは関係なく、皆同じ社会福祉士(仲間)として交流を深める事ができたと思う。</p> <p>多岐に渡る相談に対応していくには知識・技術・価値・倫理を駆使する事、業務の根拠を明確にしていく事などが必要になる。点と点をつないで線にしていく役割を担う社会福祉士として、時に仲間と語り合いながら・基礎に立ち返りながら日々の業務を行なっていきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
所 管	青年部会「わっか」

# 研修報告書

